

# 水の科学博物館〈わ〉の業務スタート

## ドキドキ緊張した まずは順調に

グループわ が受託した兵庫区の「水の科学博物館」での業務が4月1日、スタートしました。初日のスタッフは庶務が中村公一さん(美14)、受付案内が見上昌子(福19)、大里翠(福19)、誘導警備が清水英暢(美12)、岡田利勝(食20)さんの計5人。本部からも小畑理事長、吉本副理事長、同館担当の宮田幸長さんが参加。8時45分からミーティング。川口副館長が「きょうは団体予約はありません。あすは〈南極の氷を体験しよう〉というイベントがあり、これに備え1階シアターで会場づくりをします。思わぬ事故が起きてもまず、事務所に相談してください。バタバタのスタートで申し訳ないが、がんばりましょう」と挨拶。スタッフ5人は初めての仕事でかなり緊張した顔で持ち場に付きま



庶務の中村さん

した。庶務は毎日1人、受付案内は同2人が業務にあたり、午前8時45分から午後5時まで。誘導警備は同2人で業務は午前8時から午後6時までです。

庶務の仕事は団体見学者の予約受付、見学先の浄水場や誘導警備への連絡、見学者の食事場所の提供など。中村さんは電話の対応に大忙し。団体予約受付が22件。うち20件は小学校。このほか、桜の開花状況の問い合わせがあったとのこと。

受付案内では、午前9時すぎ、試みに動かしたアクア Cutter(高い水圧でベニア板を象の形に切り抜く)が予期せぬ出来事で途中、動かなくなり、出入りの電気商にきていただきました。Cutterを製造した川重の技術者に電話で指示を仰ぎ、2時間後に応急復旧、やれやれ。3Dシアターは順調に動き、館内放送も滑らかでした。見上さんは「平静を装っていたけれど、内心はドキドキ。仕事は10項目以上あり、それぞれマニュアルがある。鍵もたくさんある。大変ですが、なんとかこなせそう」と話していました。

誘導警備は門の開け閉め、機械設備の開錠・施錠、



にこやかに応対する受付案内の見上、大里さん(左から)

料金徴収、車両のチェックなどを担当。清水さんは「さくらフェア開催中のきょうは入場料無料。その分だけ楽。でも、普段は割引制度があり、その条件が複雑。現金なので細心の注意が必要でしょう」と。

4月2日は〈南極の氷〉イベントがありました。定員の100人をかなり超え、予約券のない方にも入っていただきました。2日は晴れ上がって暖かく、花見の方もたくさん来られて終日、大賑わいでした。

3月20日から4月10日までのさくらフェア



警備の清水さん(左)と岡田さん

開催中の土、日曜日は、臨時にスタッフを増やし、〈わ〉本部理事らも応援に駆けつけました。

これに先立ち、同館スタッフ応募者への説明会と面接を2月23日と26日に実施。スタッフ応募は96人ありましたが、61人でスタート。3月11日には同館でローテーション会議。4、5、6月の各担当ごとの当番の日を決めました。3月15日、24日の2回、同館で実地研修。2回では心もとない人は1、2日に科学館に見学に来て、勉強していました。(取材・写真 広報 永野知己)